園だより　10月

令和8年9月30日
千代田区立麹町幼稚園
園　長　田村　砂弥香

実りの秋、育ちの秋

園長　　田村 砂弥香

猛暑や豪雨に悩まされた夏も終わり、爽やかな秋風が心地よい季節となりました。子どもたちは、思い思いに園庭や室内での遊びを楽しみながら、伸び伸びと過ごしています。ふとした場面で見られる子どもたちの表情や言葉、友達との関わりの中に、一人一人の確かな成長を感じる今日この頃です。

さて、10月3日（土）には「おやこでスポーツ」を予定しています。子どもたちはこれまで、かけっこやリズム表現など、さまざまな運動遊びに意欲的に取り組んできました。初めは思うように体が動かなかったり、自信がもてなかったりした子もいましたが、毎日の積み重ねの中で少しずつ力を付けてきました。「もっと速く走りたい」「もっと思い切り表現したい」という気持ちが育ち、友達を応援したり励ましたりする姿も多く見られるようになっています。お子さんが一生懸命取り組む姿に、温かい励ましと声援をいただければ幸いです。

日頃から様々な運動遊びを楽しんでいます

幼児期の運動は、体力や運動能力を高めるだけでなく、挑戦する心や諦めない気持ち、友達と力を合わせる喜びなど、多くの学びにつながります。当日は、ぜひ保護者の皆様もお子さんと一緒に体を動かし、笑顔あふれるひとときをお過ごしください。親子で同じ時間を共有することは、子どもたちの心にとって何よりの宝物になることでしょう。

3歳児　親子競技で使用するお面作り

過ごしやすい秋は、遠足をはじめとする自然に親しむ活動が多く予定されています。澄み切った青空、色づき始める木々、秋の虫たちの声など、この季節には子どもたちの好奇心を刺激する出会いがたくさんあります。自然の中で「なぜだろう」「不思議だな」と感じる体験は、子どもたちの感性や探究心を豊かに育ててくれます。園でも、秋ならではの自然との触れ合いを大切にしながら、一人一人の発見を共有していきたいと考えています。

4歳児　格好よくポーズを決めます!

秋になると、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」ということわざを思い出します。稲穂は豊かに実るほど穂先を垂れます。それは、人も成長するほど謙虚さや思いやりを身に付けていくことの大切さを表しているといわれています。幼児期の子どもたちの成長も、まさにその姿に重なるように思います。できることが増えていく中で、自分の思いだけでなく友達の気持ちを考えたり、年下の子を手伝ったりする姿が見られるようになります。

発達心理学者ヴィゴツキーは、子どもの成長は周囲の人との関わりの中で促されると考えました。友達と一緒に遊び、時には意見の違いを経験しながら折り合いをつけていくこと、大人に支えられながら少し難しいことに挑戦することが、子どもたちの大きな力となります。園生活の中で見られる何気ないやり取りの一つ一つが、子どもたちの豊かな育ちにつながっているのです。

実りの秋は、子どもたちの心と体が大きく成長する季節でもあります。これからも一つ一つの経験を大切に積み重ねながら、自信と意欲を育み、友達と共に学び合う楽しさを味わえるよう、努めてまいります。引き続き、保護者、地域の皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願いします。

5歳児　心を一つに、バルーンの技に取り組みます